



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)

平成25年10月31日

上場会社名 ティアック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6803 URL http://www.teac.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 英 裕治  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 吉村邦彦 (TEL) (042) 356-9178  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,788	0.9	△594	—	△881	—	△1,308	—
25年3月期第2四半期	9,704	△24.5	△469	—	△601	—	△746	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △1,155百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,359百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△4.54	—
25年3月期第2四半期	△2.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,683	3,087	17.2
25年3月期	19,619	4,243	21.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,036百万円 25年3月期 4,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成26年3月期の期末配当は、業績等を考慮して決定する予定です。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	24,500	10.2	1,000	44.3	600	70.9	300	—	1.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	289,317,134株	25年3月期	289,317,134株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	995,124株	25年3月期	985,824株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	288,325,163株	25年3月期2Q	288,341,938株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景として円高是正や株価上昇が進み、景気は緩やかに回復しつつあります。一方で世界経済は、全体的には弱い回復が続いているものの、中国やその他新興国経済の先行きや、欧州政府債務問題の影響により景気下振れリスクも存在し、先行きは依然不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは前期において光ディスクドライブ事業の改革を終え、業績の安定化から成長への転換期という折り返し点にあります。しかしながら、当第2四半期（3ヶ月）では営業黒字化し、前年同期と比較して業績は改善したものの、第1四半期において営業損失が前年同期を上回ったことから、売上高は9,788百万円（前年同期比0.9%増）とほぼ同額となりましたが、営業損失は594百万円（前年同期営業損失469百万円）、経常損失は881百万円（前年同期経常損失601百万円）となりました。また、第1四半期に計上した米国販売子会社での特別退職金等の計上により、四半期純損失は1,308百万円（前年同期四半期純損失746百万円）と、赤字幅は拡大しました。

当社は、オンキヨー株式会社との業務提携をさらに推進し、コンシューマオーディオ事業を中心とした収益拡大と、全社的な業績の向上を目指します。また、5月9日に親会社となりましたギブソン・ブランズ・インクとの資本・業務提携内容に沿い、プロフェッショナルオーディオ事業を中心として収益拡大を目指す所存です。

参考：在外連結子会社の連結の際の円貨への換算レート

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間	
	期中平均相場	決算日の直物相場	期中平均相場	決算日の直物相場
米ドル	79.41円	77.60円	98.86円	97.75円
ユーロ	100.54円	100.24円	129.98円	131.87円

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## 1)音響機器事業

音響機器事業の売上高は、5,453百万円（前年同期比6.5%増）となり、営業損失は520百万円（前年同期営業損失58百万円）となりました。

高級AV機器（ESOTERICブランド）は、SACDプレーヤーの上位モデル販売が年数経過により販売減となりました。一般AV機器（TEACブランド）は、北米、欧州の販売が景気停滞の影響で伸び悩みましたが、日本国内やアジア諸国でのPCオーディオ製品の販売が好調に推移しました。音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、概ね世界的に堅調に販売が継続、国内の放送機器販売も好調に推移しました。

この結果、音響機器事業全体では、前年同期と比較して増収となりましたが、音楽制作オーディオ機器を主要事業と位置づけ、将来の事業拡大のために人的投資をより集中した結果、前年同期と比較して営業損失は拡大しました。

## 2)情報機器事業

情報機器事業の売上高は、3,552百万円（前年同期比12.7%減）となり、営業損失は115百万円（前年同期営業損失412百万円）となりました。

航空機搭載記録再生機器は、米国向け製品の販売が大きく伸張したことと、ストックビジネスである保守パーツ販売が堅調に推移したこと増収となりました。計測機器はデータレコーダーの販売が堅調であったものの、センサーは半導体業界の回復が見えず不調に終わりました。医用画像記録再生機器はOEM販売の落込みを自社ブランド製品の販売で挽回できず減収となりました。通話録音機器は、大型プロジェクトの下期への延伸などにより減収となりましたが、ソリューションビジネスは増収となりました。

光ディスクドライブは、PC向けOEM販売から撤退したことにより、売上高は減少しましたが、利益率の高い産業用ドライブの販売が好調に推移したことと販管費の削減により黒字化しました。

この結果、情報機器事業全体では、光ディスクドライブの売上減少により、前年同期と比較して減収となりましたが、赤字幅は縮小しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態の分析

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、17,683百万円と前連結会計年度末と比較して1,935百万円減少しました。主な増減は、固定資産の減少147百万円、受取手形及び売掛金の減少1,518百万円、現金及び預金の減少784百万円であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、14,596百万円と前連結会計年度末と比較して779百万円減少しました。主な増減は、短期借入金の減少467百万円、返品調整引当金の減少33百万円、退職給付引当金の減少82百万円であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、3,087百万円と前連結会計年度末と比較して1,156百万円減少しました。主な増減は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少1,308百万円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という）、前連結会計年度末と比較して54百万円減少し、3,553百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、119百万円のマイナス（前年同期418百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額1,619百万円、マイナス要因としては、税金等調整前四半期純損失1,149百万円、たな卸資産の増加額413百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、629百万円のプラス（前年同期83百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、定期預金の払戻による収入730百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出147百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、604百万円のマイナス（前年同期19百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、マイナス要因としては、短期借入金の返済による支出4,668百万円、プラス要因として、短期借入れによる収入4,200百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表しました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,422	3,638
受取手形及び売掛金	5,252	3,733
商品及び製品	3,381	3,979
原材料及び貯蔵品	1,262	1,219
繰延税金資産	356	237
その他	424	498
貸倒引当金	△98	△92
流動資産合計	15,001	13,213
固定資産		
有形固定資産	2,613	2,653
無形固定資産	426	425
投資その他の資産	1,801	1,643
貸倒引当金	△223	△251
固定資産合計	4,618	4,470
資産合計	19,619	17,683
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521	1,469
短期借入金	4,468	4,000
1年内返済予定の長期借入金	30	66
繰延税金負債	2	2
賞与引当金	252	251
製品保証引当金	163	136
返品調整引当金	95	61
事業構造改善引当金	9	9
その他	1,722	1,580
流動負債合計	8,265	7,578
固定負債		
長期借入金	299	277
リース債務	—	93
退職給付引当金	6,683	6,600
資産除去債務	10	11
その他	116	35
固定負債合計	7,110	7,017
負債合計	15,375	14,596
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	306	306
利益剰余金	1,935	627
自己株式	△107	△108
株主資本合計	8,134	6,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	△64
為替換算調整勘定	△4,000	△3,725
その他の包括利益累計額合計	△3,949	△3,789
少数株主持分	58	50
純資産合計	4,243	3,087
負債純資産合計	19,619	17,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,704	9,788
売上原価	5,810	5,830
売上総利益	3,894	3,958
販売費及び一般管理費	4,363	4,553
営業損失(△)	△469	△594
営業外収益		
受取配当金	3	1
為替差益	—	63
その他	71	28
営業外収益合計	74	94
営業外費用		
支払利息	90	82
持分法による投資損失	—	93
売上割引	61	50
為替差損	39	—
シンジケートローン手数料	—	105
その他	15	49
営業外費用合計	207	381
経常損失(△)	△601	△881
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	32
特別利益合計	0	34
特別損失		
固定資産除売却損	24	16
投資有価証券評価損	5	—
減損損失	—	13
特別退職金	98	195
代理店解約損	30	—
関係会社事業損失	—	52
その他	16	25
特別損失合計	175	302
税金等調整前四半期純損失(△)	△777	△1,149
法人税、住民税及び事業税	△30	53
過年度法人税等	16	10
法人税等調整額	△17	102
法人税等合計	△31	166
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△746	△1,315
少数株主損失(△)	—	△7
四半期純損失(△)	△746	△1,308

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△746	△1,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242	△114
為替換算調整勘定	△371	274
その他の包括利益合計	△613	160
四半期包括利益	△1,359	△1,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,359	△1,147
少数株主に係る四半期包括利益	—	△7



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△777	△1,149
減価償却費	237	205
減損損失	—	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	20
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△173	△83
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△1
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△26	△31
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△36	△35
受取利息及び受取配当金	△5	△2
支払利息	90	82
シンジケートローン手数料	—	105
持分法による投資損益(△は益)	—	93
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△32
投資有価証券評価損益(△は益)	5	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	24	14
売上債権の増減額(△は増加)	1,422	1,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	△340	△413
仕入債務の増減額(△は減少)	1	△80
その他の流動資産の増減額(△は増加)	29	△75
その他の流動負債の増減額(△は減少)	39	△188
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△1	△44
その他の固定負債の増減額(△は減少)	3	0
その他	82	△15
小計	555	1
利息及び配当金の受取額	5	2
利息の支払額	△92	△65
法人税等の支払額	△49	△57
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>418</b>	<b>△119</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	730
従業員に対する貸付金の回収による収入	—	0
有形固定資産の取得による支出	△123	△147
有形固定資産の売却による収入	4	1
投資有価証券の売却による収入	—	60
その他	34	△15
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△83</b>	<b>629</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	600	4,200
短期借入金の返済による支出	△593	△4,668
長期借入金の返済による支出	△7	△9
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18	△21
自己株式の取得による支出	△0	△0
シンジケートローン手数料の支払額	—	△105
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△19</b>	<b>△604</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157	40
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	157	△54
現金及び現金同等物の期首残高	4,181	3,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,338	3,553

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,118	4,070	9,189	515	9,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,118	4,070	9,189	515	9,704
セグメント利益又は損失(△)	△58	△412	△471	1	△469

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△471
「その他」の区分の利益	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△469

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,453	3,552	9,005	782	9,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,453	3,552	9,005	782	9,788
セグメント利益又は損失(△)	△520	△115	△635	40	△594

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△635
「その他」の区分の利益	40
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△594

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。